

【学校関係者評価アンケート結果】

4 = あてはまる 3 = ややあてはまる 2 = あまりあてはまらない 1 = あてはまらない

	評価項目 (アンケート)	平均
1	学校は、各種たより等で教育方針や学校の様子をよく伝えている。	4.0
2	学校は、「夢・憧れ・志」を育むための取組を行っている。	3.8
3	学校は、わかりやすい授業を工夫しながら行っている。	4.0
4	学校は、一人一人の個性や特性を理解し、特別支援教育に力を入れている。	4.0
5	学校は、子供たちが家庭学習に意欲的・継続的に取り組めるよう指導している。	4.0
6	学校は、心の教育や基本的な生活習慣(あいさつ等)の定着に力を入れている。	4.0
7	学校は、体力づくり、保健指導、給食(食育)指導をよく行っている。	3.8
8	学校は、よりよい施設や環境を整えるように努めている。	4.0
9	学校は、児童に対して校内や登下校の安全に配慮した指導に努めている。	4.0
10	学校は、いじめを生まない指導といじめについて早期発見・早期解決に努めている。	3.8
11	学校は、保護者や地域の話やきくなどよく連携している。	4.0
12	学校は、各種便り等で教育方針や学校の様子をよく伝えている。	4.0

【意見・助言】

1 学校経営や方針について

- 御館山小グランドデザインに「いつでも・どこでも・だれとでも」について、子どもたちが、場面によって、場所によって、相手によって言動を変えることなく、いつも誠実で真っ直ぐに育つよう、これからも先生方全員で確認・評価し、次年度も継続指導をお願いしたい。
- 市内で一番児童数の多い学校になり、日常的に対応を迫られる様々な問題・事例が起きるリスクも高まっているが、校内に子どもたちのパワーがみなぎり、活気があふれている空気を感じている。数は力である。今後も、その力を高め、良い方向に結集するようご指導いただきたい。
- 学校と地域の連携のための5つの部での活動が始まり、読み語りや2年生の町探検の引率支援、花の苗植えなどができて大変よかった。次年度は内容の精査や支援体制など更に進んでいただきたい。
- 教員の働き方・働きがい改革を進める上でも、家庭でできること、当然やるべきこと、地域でもできることは投げかけていただき、学校支援会議で取り組んでいくことで、三者が共同で子どもを育てていく気運が高まっていくものと期待する。

2 現在の学校行事について

- 多くの行事が行われ充実していた。
- 学校での取組や子供たちの頑張りを学校だよりで発信され、連絡事項も安心メールで発信されており分かりやすかった。
- 入学式は、新入生の椅子はパイプいすではない方がよい。
- 運動会では、スピーカーの位置に配慮していただくとともに、保護者の観覧方法も気になった。
- 行事予定をもう少し早くお知らせしてほしい。

3 地域での子供の様子について

- 挨拶について、嬉しい挨拶をしてくれるなど、年々良くなっている。なかなか返さない子もいるがいつか返してくれると期待して声を掛けていく。
- 登校中、ポケットに手を入れて歩いている児童がおり、指導をした。
- 遅れて登校する児童は、1人で歩いていることがあり気になる。
- 横に並んで白線から出て歩いたり、自転車利用のルールを守らなかつたりする児童が見受けられる。
- 子供会への加入が減っているが鬼火などの地域行事には多くの子供が集まって活動を楽しむことができた。
- 先生方と地域の方々との顔合わせできる機会があるとよい。

4 課題について

- 児童数の増加に伴い、配慮を要する児童も増加していると考えます。支援員の増員が必要である。
- 雨漏りについて、補修工事を検討してほしい。

【考察】

- 1 大規模校の強みを生かす工夫を今後も継続していくとともに、場面や場所、相手に関わらず、誠実でまっすぐに育つ子供の育成に今後も努めてまいります。また、学校と家庭・地域との連携について体制づくりについては、本年度の取組をもとにさらに改善を重ね、教育活動の充実に努めてまいります。
- 2 各種行事の実施方法等についても、いただいたご意見をもとに改善を重ねてまいります。また、学校だより等を通じて予定をなるべく早くお伝えしたり、児童の活動の様子をお伝えしたりしていきます。
- 3 挨拶や交通安全の指導は、今後も子供たちの指導を継続していきます。また、地域の方々に来校される際に、教職員を紹介するなど交流の仕方を工夫していきたいと考えております。
- 4 次年度も児童数が増え、学級数が増加する見込みです。個に応じた指導の充実に向けて指導体制も工夫を重ねてまいります。また、雨漏り等については、改善に向けて補修を重ねていきます。